

# トイレ アンチエイツ





## ぼくは、トイレです。

13週間と11日前に世界中で起った「記憶情報革命」によって、貧富の差でグラデーションを描いていた世界のヒエラルキーは崩壊し、綺麗な二分ヒエラルキーに変換されました。

それは、「ヒト」と「モノ」です。

このヒエラルキーでは、今まで生きてきた記憶情報の量で区別され、記憶情報が多い者は「ヒト」と区別され、少ない者は生きていないも同然の者、つまり「モノ」と区別されました。

そしてぼくは、この帝国立第二十六中学校のトイレになりました。

ただしぼくは普通のトイレより少しだけ格が上の

**「精液専用トイレ」**です。

第二次性徴期が始まり性の萌芽する中学生たちのやり場のない欲求不満とないまぜになった性欲の排泄施設として利用されることになりました。



# 専用 精液 便所

お…おはようございます  
ぼくが精液専用トイレです

皆さんのおちんちん  
から出る精液を  
搾らせてください…





朝、そのために早めに登校してくる寮生の男の子たちが、寝起きの朝勃ちの収まらないまま、ぼくを利用しに来ます。

男の子たちはぼくの前に立ちズボンとパンツを下ろすと、目の前に足の間で

まだ**幼い性欲を排泄しようとしたぎらせ立ち上**

**がるまだ未成熟の性器**を突きつけてきます。意気を荒げ頬を染め、発情期の猫のように分別の無い男の子たちは、その固くなったものをぼくの口といわず頬といわず押しつけ、擦り付けてきます。

中にはそれだけでこらえきれず、溜めきった情を白濁した粘液に換えてほとばしらせてしまう子、溢れとどまらぬ先走りの透明な滴を飛ばし、顔に塗りつけてくる子もいて、ぼくの顔はあっというまにヌルヌルにされてしまいます。

**むせ返るほど濃厚な欲情した男の子の匂いにまみれて、ぼくの役目は始まります。**



おはよー！  
ぼく昨日の夜オナニー  
しなかったから  
溜まっちゃってるの！  
先にさせて★

あっ！  
横入りダメだぞ！  
ぼくだってしてないんだから！

あっあっ！  
スる前に出ちゃう！  
ふあっ！んっ！  
あー！

あはっ  
この子お顔に擦り付けた  
だけでイっちゃってる★

お顔スベスベえ★  
ちんちんイイよお

うん

うん



最初は大抵、口と手での慰めから始まります。まだ幼く包皮に包まれたピン

ク色の亀頭の先端を舌で丹念になめ上げ、**包皮と粘膜の間に**

**舌を入れ**濡らしながらゆっくりと、痛くないように剥き上げます。プリンと張りつめ息づく男の子の亀頭は、今にも破裂しそうに見えます。それを口に含み愛撫していくと、尿道腔から溢れる先走りの味が口いっぱいになり、

鼻孔をくすぐる**熱く湿った男の子の独特の匂い**も伴って、気が付くとぼくの足の間のものも固く張りつめてきてしまいます。

自分の熱くなったものを握り、しごきたて、その**欲情の奔流に**

**身を任せ射精したい衝動**に駆られてしまいますが、それは許されません。

次々と突きつけられる男の子たちのものを手でも愛撫してあげなければならないのです。

男の子たちの性器は、手で握ると精液でパンパンに膨れた水風船のような、固いような柔らかいような感触で、触れればくっついてしまいそうなほど熱くなっています。

それを指の腹と第二関節で上下に刺激していくと、それはますます固く張りつめ、とうとう我慢できなくなった男の子たちは、次々に射精していきます。



ほら、ちんちん握って  
そうそう…気持ちいいよ…

シムシム

シムシム

ふあ…  
お口でももらおうの  
あったかくてイイよお

はあ

はあ

あっあっあっ!!  
皮の中敏感過ぎ!!  
イッチャウッ!!

シムシム

シムシム

あう…ぷは  
この子たちのちんちん  
すごいエッチな匂いするう



口に含まれていた、手で愛撫されていた男の子がキュッと仰け反り、喉の奥に**火傷しそうに熱く濃い精液が叩きつけられます**。濡れた茎の下にある輸精管が精液を送り出す律動が、ぼくの舌に伝わってきます。

そんなとき上を見上げると、つややかなお腹越しに下腹からこみ上げる快感に身を任せ、普段の生活ではまず見られないような**弛緩しきった男**

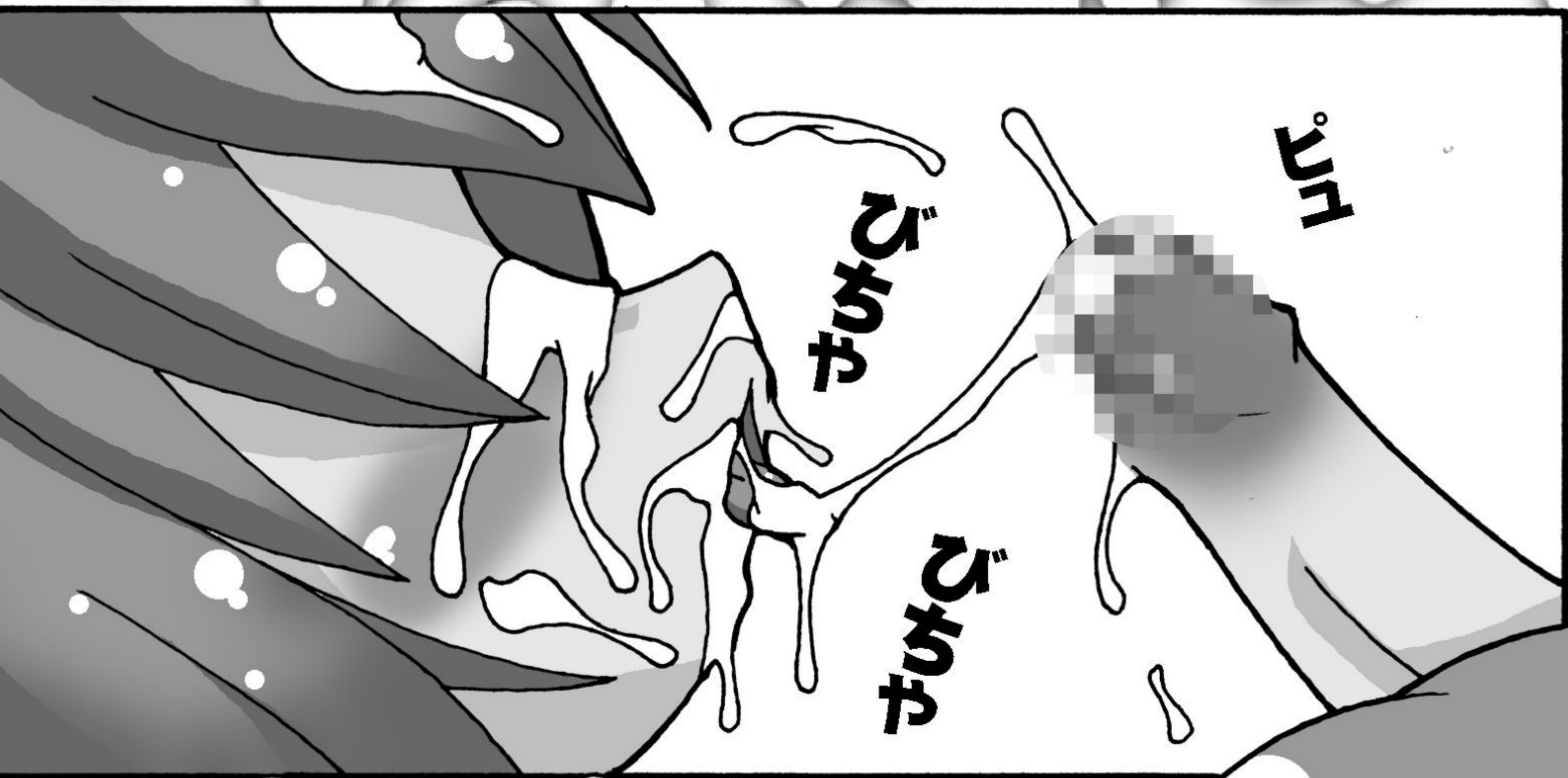
**の子の表情**を見ることができます。呆けたように口を開き、時には唾液を零しながら、宙を見据えたり、律動を繰り返して精液をほとばしらせる自分のものを見つめながら、肉体的な快楽に震えるその顔は、「淫」とか「陰」とか暗さを想像させるような淫靡さで、それでいてなにか光を思わせる神聖なものでも見てしまったような気持ち。

そして、ぼくも精液をほとばしらせる瞬間はあんな顔をしているのだな、という羞恥もない交ぜになり、言葉では表せない、ただ気持ちいいとしか表現できない気分になります。

そう思った途端、**触りもしないのに跪いた足の間の高ぶり**からぼくの欲情をこぼしてしまうこともあります。見ている男の子たちに笑われてしまいましたが、どうしても抑えることができずぼくは羞恥にへたり込み、勃ち上がった性器の先端から白い軌跡を描く精液を、沢山飛ばしてしまいます。



あ…せーしの味…  
すごいエッチいよお



ビュクッ

ジュジュ

ブルブル

ジュン

ジュン

やあっ!  
ちんちん触ってないのに  
出ちゃう!  
出ちゃうよおー!



そうこうしている内に登校時間も過ぎ、トイレに来る人は増えていきます。そうするともう口と手だけでは間に合わず、幼く、幼いが故に獐猛な獣欲に身

を乗っ取られた男の子たちは、**ぼくのお尻で自分で処理を始めて**しまいます。

腰を抱え込まれ、ズシリと男の子の体重が背中にかかると同時に、会陰の上あたりを男の子の高ぶりで激しく突き上げられます。やがてぼくのその高ぶりを受け入れる場所をスベスベした鈴のような形の粘膜の先端で探り当てると、

そのまま腰を深く落とし、**直腸の中に突き插れて**きます。

ぼくのまだ固いつぼみを押し開かれる刺激は、違和感を伴い、痛いような気持ちいいような不思議な感覚ですが、すぐにそれは本物の傷みへと変化します。愛撫もなしで激しく腰を動かす男の子は手加減をしてくれず、乾いた入り口

が突き插れられた性器と擦れ、入る時はまだしも引き抜かれる時に、**内臓**

**ごと外に引きずりだされそうな痛み**が走ります。声を出そうにも、既に口にも幾本も性器を突き入れられ、咽せるばかりで声も出ません。ぼくのできる事はと言えば、涙をポロポロとこぼすばかりです。

やがてお尻を抱えた板男の子が果て、**お腹の中にジワ…と暖**

**かみが広がる**と、男の子の深い吐息とそれに合わせたお腹の波打ちを感じる間もな

く引き抜かれ、次の男の子が挿ってくるのです。



つくう！  
トイレのアナル  
すじいよっ！

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

ギ

ギ

挿れた途端  
イっちゃういそっ！  
お尻振り  
止まらないよっ！

ハ  
ハ  
ハ

入り口でキュウキュウ締め  
中のペタペタが  
ちんぽに吸い付いてくるっ！  
…んっんっ！

早く出して代われよ  
みんな精子出したくて  
待ってるんだから

ヌ  
プ  
ヌ  
プ  
ヌ  
プ  
ヌ  
プ

待って…  
もうちよっ  
…んっ！ ふあ…  
出る！精液出る！



そのまま苦痛を堪えながら**四人、五人とお尻で受け入れる**うちに、男の子の出した精液でぼくのお尻はドロドロになり、緊張していたアナルも弛緩し男の子たちの手加減のない挿入もすんなりと受け入れるようになってきます。

すでにトイレは行列ができはじめ、待ちきれない男の子たちはもうぼくを使わずに自分の手で慰め、**ぼくの身体に向かって精液を**かけていきます。

顔やお尻はもちろん、手足、身体のいたるところに止めどなく放たれる何人分もの精液を浴びながら、圧力を感じるほどの湿気と男の子たちの欲情した体臭、分泌物の匂いで、ぼくはもう呼吸することすらまなりません。

手に握られ、愛撫に我慢できず放つ男の子たちの精液で手も床も、白く濁った液に濡れ滑り、ふんばる事もできずぼくはその濡れた床に顔を付け、**抱え込まれ突き上げられるお尻だけ高く上げたまま**崩れ落ちてしまいます。

過剰なほどの男の子たちの放った精液のぬめりと、とめどなく抜かれてはまた突かれ、直腸をこすられその下にある男の子の敏感な器官を突き上げられ、何度もなんども、精液を床にこぼします。

このあたりで大抵ぼくは**男の子たちの性欲が叩きつける快感とも苦痛とも見分けのつかない感覚**に揺さぶり続けられ、意識を失ってしまいます。



うっ…イ イクっ！  
ふあっ…うっんっ！  
あは…あ★

で、出たあ…  
おちんぽポッキ収まらないよ  
もう一回シていい？

ハッ  
ハッ  
イロ

ビュウッ

ビュウッ

ビュウッ

ぴゅっ

すごい！  
このトイレ何回射精  
するんだろ！  
もう十回以上出してるよ！

ビュウッ

ド

ド

トイレのせーし  
まだこんな濃いよ  
ほら、こんな真っ白★  
毎日してるのに  
エッチだなあ★



授業開始のチャイムで気が付くと、ぼくは何人もの男の子たちの排泄した性欲の残滓……その情のように白く濁った濃い**精液のまき散らされた床**に、横たわっている自分を見つけます。

快楽に身を任せ続けた疲労とズキズキと**心臓の鼓動に合わせてうずくお尻に身動きのできぬまま**、またトロトロとした睡魔に襲われます。自分の性器を見ると、自分で出したのか、かけられたのか分からない精液が、粘性の高い糸を引いて床と繋がっていたりします。

また今日もいっぱい出しちゃったな……ぼくのおちんちん壊れちゃわないかな……。

でも、今日も男の子たちがいっぱい気持ちよくなれて良かった。

**だって、ぼくは精液専用のトイレなんだから。**

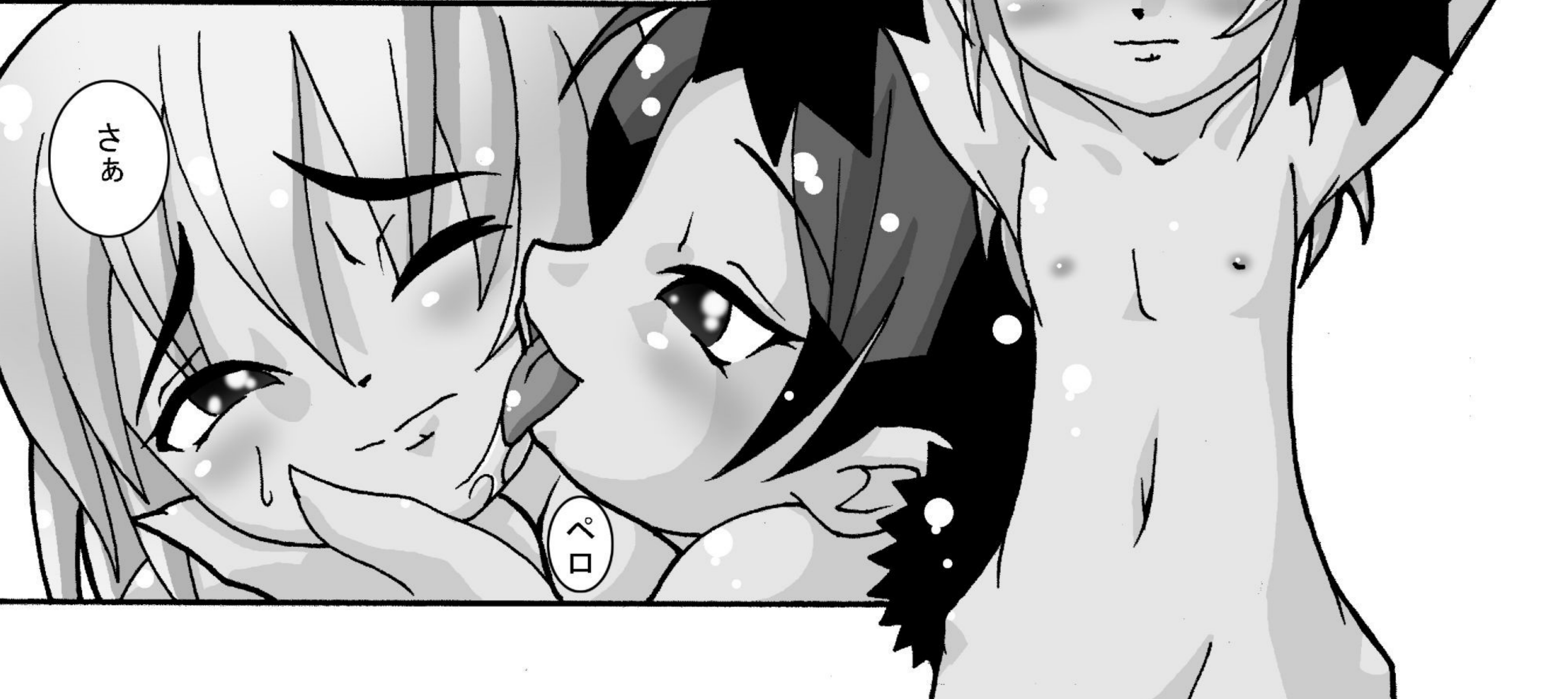
そして、次に男の子たちの来る休み時間まで、**鼻につく匂いを放ち始めた誰が出したとも分からない精液に身を浸して眠る**のです。

Fin.



Good morning.  
Have a good dream  
my cute bunny?

# アンチエイズ Macop











ああ…  
やめてよお…

なに？  
やめろって？



へへ…かたくなって  
きたな  
元気げんき★

にゆるっ

ピクン



口答えしちや  
ダメだぜ！

ガ



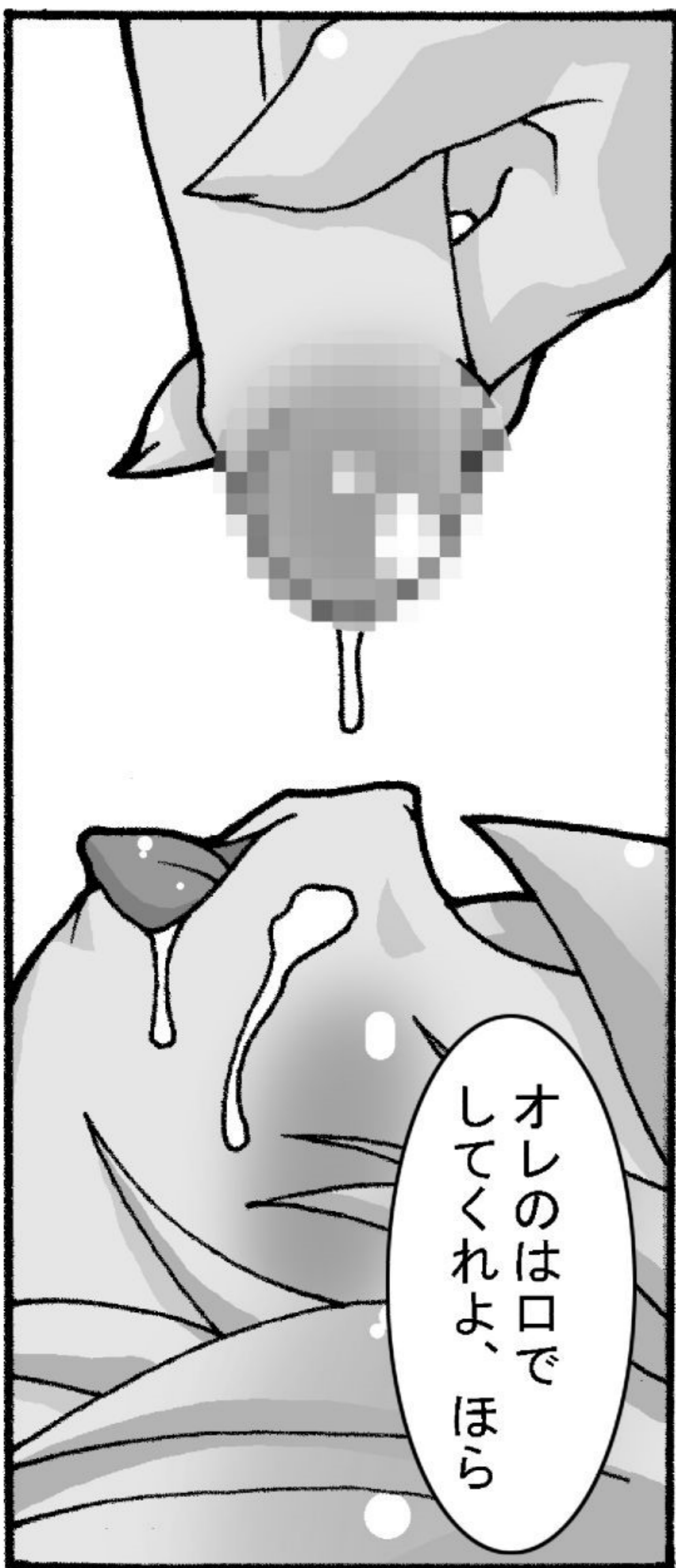
おまえは黙って  
俺たちに奉仕してれば  
いいんだよ！

あがっ！ぎっ！  
あっ！あああ！

ズ

プ  
ウ









いっきそー！  
出すぞ！  
顔につ……うあ

ズク  
ズク  
ズク



んふ……ふう……  
んぐ……うふあ

う……イイぞ……  
出そう！

プジュ

ジュポ

ん……う……  
そうそろ もっと  
舌で先っちょコネて……



そんなイヤそうな顔  
すんなよ  
あつたかくて  
気持ちいいだろ

ズク  
ズク  
ズク

ふは……うう……

は……あは★  
顔射イイ……っ



うっ……うっ……  
あっ……あ……っ……  
出た！ちんぽ汁出たあ！

ビク

ビクン

ズク  
ズク  
ズク





ハア

ガクガク

ふ...うっ  
あっ!

はは、気持ちよくて  
声も出ないか  
...んっ!

よかったな  
顔にいっぱい  
かけてもらって

オレもそろそろ  
イクぜ...

ハア

ハア

プチュ

ヌプツ

出る?! 出る!  
つく! んーっ!

ビクッ

ビクッ

あーっ!  
あーっ!

チュポ

チュポ

ビュッ

ビュウーッ!

うはあ★  
直腸にオレの精液  
ドプドプ出てんの  
分かるか?

















あっあっ!!  
お尻スゴイよお!!

ダメえ!  
そんなにしたら  
出ちゃう!

んあっ!  
オレも出る!  
ちんぽ出るう!

ビクッ

ズポツ

プチュ



**エンドレス**